

令和元年度 1 学期終業式校長式辞

令和元／7／19

まずは本日、1 学期の終業式を無事に迎えることができました。この当たり前に思える現実に深く感謝したいと思います。全国にはこの当たり前が当たり前ではない学校があります。全ての皆さんに心から感謝したいと思います。

ただ今、4 人の生徒代表のスピーチがありました。本当に素晴らしかったですね。〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんそして〇〇さんありがとう。この日のために話す内容を考え、何度も練習してきたのでしょうか。もう私が話す必要がないくらいとても立派なスピーチでした。そしてその話を聞いていた全校生徒の皆さん、本当に立派な聴く態度でした。学年・学級を代表して登壇した4 人の皆さんと真剣に聴き入る全校生徒の皆さんの姿に大井西中学校の成長の証を見た思いです。

さて先日、ある地域の方が私に会いに来ました。開口一番、「校長先生、階段を上がっていると生徒さんから笑顔であいさつをされました。また掃除中でしたが、全員が無言で黙々と掃除をしていました。大井西中学校って本当に素晴らしい学校ですね・・・」とお褒めの言葉を頂いたのです。とても嬉しかったです。皆さんのお陰で私が褒められました。本当にありがとう。私は皆さんのことをとても誇りに思っています。このように皆さんは本当に大きく成長しました。この様な大井西中学校を創り上げたのは、3 年生そして2 年生の君たちです。上級生の姿を見て1 年生も着実に成長しています。今の大井西中学校には上級生が手本や見本を示し、その姿を見て下級生が学ぶという好循環が生まれています。学校が良くなっていくための大切な好循環です。この好循環をもっともっと太く長くしていきたいと思っています。君たちならきっとできます。

さて今日は「素直な心の大切さ・素晴らしさ」についてお話しします。本日は先生から通知票を頂き、ご家族に見せる日ですね。もしかしたら希望通りの評価や評定が貰えない人もいられるかもしれません。そんな時、皆さんはどんな気持ちになり、どんな言動をするのでしょうか。素直な気持ちがあるとその結果を自分がやってきた結果だと受け止めて次は頑張ろうと思えます。疑問点があれば先生に積極的に質問に行くでしょう。しかし、素直な心がないとその結果を他人のせいや学級や周囲のせいにします。先生がちゃんと見てくれなかった、友だちがうるさくて勉強できなかった、親から勉強しろと言われてやる気を失った・・・と自分以外にその原因や理由を求めます。するとその心は怒りや不満で満たされ心が壊れていきます。心が壊れれば人間関係や自分の体を壊し、次への意欲ややる気が失せてきます。改めて良く考えてみて下さい。本当に自分の希望や願いが叶わない原因は自分以外にあるのでしょうか。自分には何も問題がないのでしょうか。素直な心を持つ人は静かに自分のことを振り返り、全ての原因は自分自身にあることにやがて気づきます。そして自分自身に足りない物は何かを探そうとします。希望や願いが叶わなくても誰も責めたり恨んだりせず、心はいつも安定します。

正直、私もまだまだ素直な心を持つことができません。1つの出来事に一喜一憂する自分がいます。しかし全ては自分自身の心の在り方が、その人の生き方や人生を豊かにするか否かを決定すると学んできました。これからの世の中は大きく変化していきますが、どんな世の中になっても自分の心に素直さという宝物を持っていれば必ず誰もが幸せな人生が送れると信じています。

いよいよ夏休みになります。勉強に運動に頑張る皆さん、改めて自分の心に素直な心を植え付けてくれたら嬉しいです。「ありがとう」「ごめんなさい」を当たり前と言える皆さんに成長して行って欲しいと願っています。そして誰もが充実した夏休みを過ごして、全員がまた元気な姿でここに戻ってくることを願い、1学期の式辞と致します。